



清風会&公明  
西室 衛

**Q** 地方独立行政法人設立を  
目指しているがスケジュールは

**A** 年度のなるべく早い時期  
の移行を目指す

**問** 地方独立行政法人設立  
を目指しているがスケ  
ジュールは。  
また、病院長が医師確  
保に奔走されているが、  
市としてはどのように  
支援して行くのか。

行政法人大月市立中央病院  
の定款、評価委員会設置条  
例及びこの評価委員会を運  
営するための補正予算の審  
議をお願いしました。この  
案件の議決により地方独立  
行政法人化への手続きがスタ  
ートします。

**答** 市長  
本定例会には、地方独立  
許可申請書を提出し、その

許可を得る必要があり、こ  
のようなさまざまな諸手続  
を経て、平成30年度のなる  
べく早い時期の地方独立行  
政法人への移行を目指し、  
その準備を進めています。  
次に、佐藤院長が医師確  
保に奔走されているが、市  
としての支援については、  
市と市立中央病院が一体

となつて、山梨県に働きか  
けを行いながら、山梨大学  
医学部附属病院や山梨県立  
中央病院などの県内の医療  
機関との関係強化に努め、  
今後も医師の確保だけでは  
なく、さまざまな課題に取  
り組むことにより、市民か  
ら信頼される病院を目指し  
てまいります。

**Q** 教員の働き方改革に対す  
る今後の対応は

**A** 学校現場の意見を聞きな  
がら情報を共有し、改善  
を進める

**問** 小中学校教員の働き方  
改革について、教員の  
勤務時間はどうのよう  
に管理されているのか。  
また、負担が増加する  
教員の働き方改革に対  
し、今後どのように対  
応していくのか。

**答** 教育長

小中学校の教員の勤務時  
間の管理については、所属  
職員を監督する所属校の校  
長が、教員の健康やワーク  
ライフバランスなどを配慮  
する中で管理・指導してお  
り、各学校では、月に1度

は部活動や会議を行わず、  
定時で退勤するように心が  
けるなど工夫をしています  
が、教員の業務は多岐多様  
なために勤務時間内で遂行  
し切れないことが多く、教  
員の個々の裁量に任されて  
います。

次に、教員の働き方改革  
についてどのように対応し  
ていくかについてです。

本市では、23名の市独自  
の講師等を配置し、学習支  
援や生活指導を初め、学校  
内の業務を分担するなどし  
て教員の負担軽減に努めて  
います。

また、昨年度から放課後  
の時間を利用して教員OB  
による楽習塾を実施し、教  
員が教材研究や授業準備な  
どが少しでもできるように  
応援を始めたところです。

今後は、国における対応  
策なども踏まえ、各学校の  
多忙化改善計画の検証をす  
るとともに、学校現場の意  
見を聞きながら情報を共有  
し、改善を進めてまいりた  
いと考えています。



清風会&公明  
鈴木 章司

**Q** 「やとふる」に登録してからの進捗状況は

**A** 2週間で55件、116万円を集め、現在の寄附総額は756万6千円

**Q** 商工観光担当を分け、企画や推進体制を強化するということだが

**A** 課内、庁内で体制を確立し、各種施策を推進する

観光業者間のマッチング、外国人観光客への対応、そしてお祭りなどの既存イベントの充実を図ることにより、観光まちづくりにつながるDMOの設立に向けての取り組みを充実していくこととしました。

産業振興担当においては、

これまでの統計業務に加え、まずは商店街の再生と活性化への支援、市内事業者へのニーズ、要望などの聞き取りによる支援拡大と情報収集、商工会との連携強化、雇用創出に向けたマッチングセミナーや特産品の開発支援に向け、有利な補助制度の周知、また企業誘致については雇用創出による人口増加などの効果を期待し、用地の選定を初め、庁内における各課との調整事務など、早急に必要とされている業務について取り組みを強化していきます。

2つの担当にしたことで課内、庁内で柔軟な体制を確立し、各種施策を推進していきたいと考えています。

**問** 産業観光課において、商工観光担当を観光担当と産業振興担当の2担当に分け、企画や推進体制を強化するということですが、具体的にどのような施策を推進していくのか。

**答** は、観光事業を行う観光部門と産業振興部門を商工観光担当により業務対応をしてきました。しかし、最近では、観光面では登山客や外国人観光客が増加傾向にあり、自然や農業を利用した体験型観光など新たな動きが市内で始まっています。観光担当においては新たな観光資源の掘り起こし、民泊や農泊への対応と推進、

**問** ふるさと納税について、「さとふる」に登録してからの進捗状況は。また、今後、どのように展開していくのか。

56万6、000円となり、昨年を上回る状況です。次に、今後どのように展開していくのかについては、現在4つのふるさと納税応援事業者が登録されており、さらに2つの事業者と調整中ですが、本市ならではの特産品を寄附の返礼品とする中で、市内事業者の活性化にもつながると考えています。

**答** 企画財政課長

12月1日にふるさと納税業務支援業者である株式会社さとふると委託契約を締結し、12月15日から返礼品を選択できる運用を開始しています。

年間所得がほぼ確定する12月には、特に税の控除額に合わせてふるさと納税を行う方が多いこともあり、2週間という短期間で55件、116万円を集めることができ、現在の寄附総額は7

今後は、新たな特産品の発掘などにより、さらに事業者をふやすとともに、空き地の草刈りサービスや体験参加型の観光の提供も検討したいと考えています。

**答** 産業建設部長

これまで産業観光課内に



大月再生クラブ

鈴木 基方

**Q** やまびこ支援学校予定地の市道はどうなるのか

**A** 区域内の市道用地の譲与で事業に協力します

**問** やまびこ支援学校西側の土地に道路の整備つきで、どのような事業者が来てくれるのか。介護の聖地をうたっている市長のマニフェスト、マスタープランについての市の考えは。また、やまびこ支援学校建設予定地にかかる部分の市道の路線一部廃止について、県とど

のような話になっているのか。

**答** 産業建設部長

市のマスタープランを策定する時点では、健康科学大学側から桂台地内に移転の要望があったため、計画の中に取り入れることとしました。

今後とも大学側の移転時期

については引き続き協議を進めてまいります。また、もえぎ寮についても同様の状況となっています。

今後、桂台地区南側エリアの整備については、立地適正化計画の策定により、さらなる福祉、教育施設等の誘導を進めることとし、市内外へのアピール方法などについて検討をします。

本市では山梨県及び区域内の大部分の土地を所有する事業者と基本合意書を締結し、それに基づいて事業者は区域内の宅地を無償譲渡し、本市も区域内の市道用地を譲与することで、やまびこ支援学校整備事業に協力します。

再質問

**問**

桂台の市道用地を市で負担するのなら、綱本の市道認定も市で負担すべきでは。

**答** 建設課長

当該市道敷地については、

財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例第3条の規定に基づき、県に無償で譲渡するものです。

なお、市道認定の議案に

については、市道認定基準要綱第4条の規定により、道路敷地を無償寄附で受け入れるものです。

**Q** 病院の現在に至るまでの検証、経営の総括を

**A** 経営改善に取り組んだが、思うように健全化が進みませんでした

**問** 今年度の赤字補填は幾らになるか。ここ10年間、ここ5年間の繰出

金は幾らになるか。また、それについてどう総括するか。

**答** 病院事務長

平成29年度補正予算では3億7,000万円を計上しており、平成19年度から28年度までの10年間で34億1,800万円、ここ5年

間では22億1,800万円と悪化している状況です。

また、借入金残高は、平成28年度末21億6,400万円余り、29年度末の見込み額は20億2,000万円余りとなっています。

このように非常に厳しい経営状況の中で、市立中央病院は経営健全化を図るために、常勤医師の確保や経営改善に取り組んでまいりましたが、思うように健全化が進みませんでした。



山と川の街大月

小原 文司

**Q** 経営形態を移行するが市民への謝罪はないのか

**A** 今はどうした状況を何とか打開することが私の責務

**問** 市立中央病院の経営を健全化するための県立中央病院の分院化を公約にされていたが、最終的に非公務員型の独立行政法人に移行するが、市長から市民への謝罪はないのか。

また、中央病院の経営責任者は誰なのか。

**答** 市長

経営責任者、病院開設者、当然両方私だと基本的には思っています。

しかし、全体的な流れの中で、その謝る謝らないというよりも、今はこうした状況を何とか打開することが私の責務であろうと、そのように思っていますか

ら、そういう努力を最大限重ねてきたということは事実であろうと。そのことが市民に理解をされているというふうに私は理解している

ますから、あえてこの場でそういうことを申し上げる必要はないであろうというのが私の考えです。

どを育むことを目指しています。

**Q** 小学校でのプログラミング体験の取り組みは

**A** プログラミング的思考などを育むことを目指しています

**問**

2020年度、小学校ではプログラミング体験を教科内で必修化するということが決まっています。その取り組みについてお聞きします。

情報機器の使用を通して、児童生徒が学習課題に興味や関心を持ったり、進んで調べたりしながら学習内容の定着を図ることを目的としています。

**答** 学校教育課長

学習指導要領の改正に伴い、2020年度から小学校でプログラミング教育が必修となります。ICT教育は、コンピューターなど

プログラミング教育は、子供たちにコンピューターに意図した処理を行うよう指示することができるといふことを体験させながら、将来どのような職業につくとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としてのプログラミング的思考な

本市では、昨年5月に校長会、教頭会、小中学校情報処理関係教員、指導主事、学校教育課職員で組織するICT教育の充実に伴う検討委員会を立ち上げて、本市における効果的なICT教育のあり方や小中連携、人材育成、プログラミング教育について検討を重ねているところ です。

プログラミング教育では、物事を手順として考える力を育てることが大切であり、ますので、その手順を目に見える形で可視化し、友達と話し合いながら修正していくような学習を全教育活動において取り組んでいくよう指導してまいりたいと考えています。

また、指導する教員の研修につきましましては、山梨県教育委員会と相談する中で多忙とならないように工夫してまいります。

その他の質問

**問** 残土処分場について  
**問** 普通交付税について



藤本 実

**Q** 保育教育施設整備に込める市長の考えは

**A** 保護者が安心して子育てし就労できる環境を整える

内の民間事業者等のご理解、そしてご協力をいただく中で、子育てしやすい環境づくりの一環として、市としての施設整備方針を策定いたしましたところですが、

この整備方針に沿って、子どもたちの安心、安全を守り、保護者が安心して子育てして就労できる環境を整えることにより、少子化対策、また移住・定住の促進を図り、子育てしやすい環境づくりを推進したいと思っております。



ふたば保育園

**問** 子育て支援の考え方に  
ついて、特に保育教育  
施設の整備に込める市  
長の考えを明らかにし  
てください。

ですが、年々児童数が減少する中、一部の施設を除きましては耐震性や老朽化が課題となるなど、市全体として幼児教育、保育施設のあり方が心配をされているところですが、

これらのことから、本年

市内には、公立保育園2カ所、民間保育園3カ所、民間幼稚園が3カ所ありま

度、公立や民間を含め、現状の老朽化した施設の再配置と施設整備を見直し、市

**Q** 国の交付金を活用した空き家除去の検討を

**A** 自治会等の要望があれば協議を進めたい

**問** 管理されていない空き家の増加が社会問題となる中、国が社会資本

活用についての聞き取りを行っています。

総合整備交付金等の基幹事業として、空き家再生等推進事業（除却事業タイプ）を例示して推進しています。大月市でも社会資本総合整備交付金を活用した空き家除去の検討をする考えは。

この取り組みにより、現在空き家等所有者が近隣者に譲渡を交渉している事例もあり、近日中に譲渡契約が完了し、空き家の解体及び利活用が予定されています。

**答** 市民課長  
本市では、除却を含めた空き家等の適正管理について、所有者等に指導を行うと同時に、空き家、空き地の流通を促進するため、自治会や近隣者に空き家の利

今後につきましては、この取り組みを広げ、自治会等による公共的な利活用の要望がありましたら、事業の効果及び費用負担の割合等を考察した上で、交付金等助成制度の導入について協議を進めたいと考えています。



小林 信保

**Q** 地域包括ケア病床とは、  
どんな病床か

**A** 在宅復帰に向けて、診療、  
看護、リハビリを行う病  
床です

**問** 地域包括ケア病床と  
は、どんな患者さんを  
受け入れる病床なの  
か。

**答** 医事管理課長

市立中央病院では、昨年  
8月1日から南3階病棟の  
療養病棟の一部を地域包括  
ケア病床としました。地域

包括ケア病床は、急性期の  
治療が終了し、症状が改善  
した患者さんで、すぐに在  
宅や施設へ退院するには不  
安のある方に対し、在宅復  
帰に向けて、医療管理、診  
療、看護、リハビリテーシ  
ョンを行うことを目的とし  
た病床であり、60日以内の  
退院を目指し、在宅あるい  
は介護施設に復帰予定の方

が対象となっています。  
当院では、主に症状が回  
復、安定したところで、在  
宅復帰に向け、もう少し入  
院しながらリハビリがした  
い、日常生活に戻るための  
トレーニングがもう少し必  
要という患者さんが一般病  
床から地域包括ケア病床へ  
移っています。

いただきたいと思います。

**答** 病院事務長

**Q** 医療業界の情勢や実務に  
精通した職員の採用の必  
要性について見解を

**A** 医療実務に精通した職員  
が経営に携わる事は必要

**問**

超高齢化社会の中で、  
医師や介護職員の確保  
が困難であることや医  
療費の高騰等多くの課  
題を抱えた医療、福祉、  
介護を取り巻く環境は  
日々刻々と変化をして  
います。病院経営は常  
に一步先を見越し、柔  
軟に、しかも的確に対  
応していく必要があります。  
新たな診療報酬  
のとり方の検討、長期  
的な医療ニーズの見込  
み量の調査、さらには、

委託費、材料費の見直  
しを継続的に行う必要  
があると思います。こ  
れまではそのような医  
療業界の情勢や実務に  
精通した職員がいなか  
ったということが経営  
の悪化や適切な医療の  
提供が不十分になって  
しまった原因であると  
私は思っています。  
そこで、医療業界の情  
勢や実務に精通した職  
員の採用、その必要性  
について見解をお示し

診療報酬制度のこういっ  
たものが非常に複雑化する  
中で、医療実務に精通した  
職員が病院事業の経営に携  
わることは必要であると、  
私も実際非常にそういうこ  
とを感じています。  
国の調査報告書におきま  
しても、公立病院の事務局  
の強化、経営人材の確保と  
育成との方針が示されてお  
りまして、特に専門的な知  
識、技術、経験のある外部  
人材の事務局への登用等の  
検討というふうに明記をさ  
れています。  
地方独立行政法人に移行  
した場合には、年齢や採用  
時期にとらわれることなく、  
そのような専門的な知識を  
有する職員の採用や病院事  
業を経験した職員の登用が  
できるようになりますので、  
これが経営の健全化につな  
がる、このように考えてい  
ます。

# 議会云運営委員会行政視察研修

委員長／小泉 一三雄

## 研修日程

◆平成30年1月29日(月)  
～1月31日(水)

## 研修内容

◆三重県鳥羽市議会  
「議会運営について」

IT化が進んでいて、議員は全ての会議でパソコンやタブレット端末を使用可能。また、会派制をとらず、正副議長選を立候補制で行っている。一般質問通告締め切りは、議会運営委員会前日の正午まで、制限時間は答弁を含んで60分、通告順に行っている。また、通年議会を採用している。

「議会基本条例について」

反問権を規定し、議論を深めるための反論も含めた反論権も認めている。基本条例策定をした当時の議員が減り、条例について理解

し、意識を持ち続けていくかが今後の課題である。

TOBAMライトークは、地域課題の共有が主目的で、テーマに沿った意見交換のみを行い、要望を聞く場所ではないことを示し、市民の参加人数は減ったが、若い人や女性の意見を聞くなど議員の派遣に関しては、団体の希望に合う形で対応している。



鳥羽市

## 研修内容

◆滋賀県米原市議会  
「議会運営について」

代表質問は、2人以上で組織した会派から1人が答弁を含めず40分以内で、一般質問は答弁を含めず30分以内で行う。

「議会基本条例について」

各種団体との意見交換会を積極的に行っている。議員からの呼びかけを含む公募によることで、意見の交換が深まり、団体の活動内容に関するテーマで、所管委員会の委員中心に意見交換会を行うことで、委員会での意見が委員会や一般質問に反映しやすくなり、何名かが一般質問で扱っている。

「議会基本条例の検証について」

検証シートを作成し、それに基づいた検証を行っている。

検証の重点は、現状の課題と今後の方策について全議員が課題を共有することとし、検証サイクルは4年に1回。現状18名中8名が新人議員であり、検証についての理解を深めることと、今後の方策を4年間でいかに実行していくかが今後の課題である。



米原市

## 【所感】

今回の視察で一番興味深かったのは、議会報告会の運営方式である。

鳥羽市においても米原市においても、一般的な議会報告会の運営方式に限界を見出し、各種団体に相手を絞り、一定のテーマにおいて意見交換を行うという方向にシフトしているということにおいて、本市で検討・実施している方式が、市民との対話において有効であると言える。また、米原市において基本条例の検証に使用されている検証シートの作成も検討する意味がある。

また、代表質問・一般質問について、米原市では1人会派の検討を求められたこともあったが、一貫して1人会派は認めておらず、会派ということにおいては、この考え方が妥当であると言っべきである。

# 視察研修報告

会派及び議員個人が研修所や先進地への視察研修を行い、行政に対し提案をしています。

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

◆平成30年3月30日～31日

◎愛知県長久手市  
・人口増への取り組みについて

◇参加議員

小原 丈司

◆平成30年3月29日～31日

◎和歌山県紀の川市  
・ザクワ栽培の現状について

◇参加議員

奥脇 一夫

◆平成30年3月26日～27日

◎群馬県桐生市  
・地域活性化に対する取り組みについて

◇参加議員

小原 丈司  
大石 源廣  
(山と川の街大月)  
鈴木 基方  
(大月再生クラブ)

◆平成30年3月26日～27日

◎福岡県田川郡川崎町  
(地方独立行政法人川崎町立病院)  
・病院の独立行政法人化への経緯と経営状況並びに議会の役割について

◇参加議員

相馬 保政  
古見 金弥  
西室 衛  
鈴木 章司  
(清風会&公明)  
藤本 実  
(無党派)

◆平成30年2月21日～22日

◎長崎県佐世保市  
(地方独立行政法人北松中央病院)  
(地方独立行政法人佐世保市総合医療センター)  
・病院の独立行政法人への経営形態の移行と組織体制について

◇参加議員

小泉 二三雄  
山田 善一  
(自由民主党)

◆平成30年2月15日～16日

◎栃木県小山市  
・病院の独立行政法人化への移行について  
◎栃木県宇都宮市  
・観光施策について

◇参加議員

相馬 保政  
古見 金弥  
西室 衛  
鈴木 章司  
(清風会&公明)  
小林 信保  
相馬 力  
(無党派)

◆平成29年5月20日～21日

◎北海道小樽市  
・小樽合宿・木村塾2017年5月期「地域活性プロデューサー人財塾」への参加

◇参加議員

小林 信保

## 会派構成

※大月市議会の会派構成は、次のとおりです。

- ◎清風会&公明
  - ・代表者 相馬 保政
  - ・所属議員 古見 金弥  
西室 衛  
鈴木 章司
- ◎山と川の街大月
  - ・代表者 小原 丈司
  - ・所属議員 大石 源廣
- ◎自由民主党
  - ・代表者 小泉二三雄
  - ・所属議員 山田 善一
- ◎大月再生クラブ
  - ・代表者 奥脇 一夫
  - ・所属議員 鈴木 基方
- ◎無党派議員
  - 萩原 剛
  - 小林 信保
  - 藤本 実
  - 相馬 力

## 会派所属議員変更届

会派「山と川の街大月」  
(代表 小原丈司議員)より  
会派所属議員変更届が提出されました。

## 会派結成届

会派「大月再生クラブ」  
(代表 奥脇一夫議員)より  
会派結成届が提出されました。

## 会派要件の変更

国会に議席を持つ政党の  
党員にかかわらず、1人会  
派は認められなくなりました。

## 事務局長紹介

4月1日付、人事異動により  
議事事務局長の異動があり  
ましたので報告します。

榎屋孝一氏が議事事務局長  
に就任し、前事務局長の藤本  
直樹氏は退職いたしました。

# 意見交換会開催 各種市民団体 代表者と公募市民 × 議会基本条例 調査特別委員会

基本条例の策定にむけて40回以上の会議を開催し、ようやく議会基本条例(素案)をまとめました。今回の意見交換会は、議会基本条例制定のための中間報告であり、市民の皆さんの意見等を聞かせていただき、はじめて条例案として完成するものと考え開催致しました。



議会基本条例の制定は画期的、進捗状況・達成度の評価をすべき

【市民】

達成度を評価するための検証シートの作成を検討

【議会基本条例調査特別委員会】

市民からの質問

・ 地方分権一括法の制定で地方議会の役割も変わってきているのかもしれないが、議会が形骸化されていて執行側のチェックがしっかりできていない等の背景があったのか。

議会からの回答

・ 行政のチェックは議会の最大の役割の1つであるということには仰るとおりですが、地方議会には地方の自立を指した政策立案機能を持つことが同時に求められていることから議会基本条例の制定に向かうことになりました。

市民からの質問

・ 市長等が設置する法定以外の諮問機関及び審議会等の委員に就任しないことの意義は。

議会からの回答

・ 本来、二元代表制の下で議会が市長の諮問機関に入ることには適切ではありません。しかし、各審議会や委員会等の委員への就任については再度、議論をしています。

市民の意見

・ 八王子市議会では議会基本条例の進捗状況や達成度を外部の人に評価してもらっているが、取り入れてはどうか。

議会の対応

・ 条例の見直し規定がありますが、評価・検証の必要性は感じていますが、まずは、評価・検証シートの検討を始めました。

市民からの質問

・ 総合計画策定に対し、議員がどんな形で関わることになるのか。

議会からの回答

・ 次回、総合計画審議会が立ち上がるのと同じ頃から議会として関

わるようにしたい。

市民の意見

・ 条例や規則、要綱を策定しても議員のやる気にかかっていると思う。絵にかいた餅にならないように良くする努力をしてほしい。

議会の対応

・ 条例制定と要綱の制定を同時進行して、市民との意見交換会も実際に行っているものを条例化していきますし、要綱を作ったらずぐに運用を開始しながら条例制定をしていますので、形骸化する心配は少ないと思います。

市民の意見

・ 意見交換会の相手先は各種団体等とあるが、一般市民はどうなるのか。

議会の対応

・ 現在、年間に4回、意見交換会を開催しているが、子育てや地域経済、介護など専門的意見や提案を頂けるグループと意見交換を実施しているため、各種団体等となりましたが、一般の希望する市民グループとの意見交換会の開催についての規定もありますので、周知するようにします。

# 議会日誌

## あなたも 本会議を傍聴しませんか

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。



### 6月定例会の日程(予定)

- ・開会日 6月 4日
- ・代表質問 6月 14日
- ・一般質問 6月 15日
- ・閉会日 6月 21日

※定例会前の議会運営委員会で正式に決定されますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

### 編集後記

2つの特別委員会を設置し、議会内でも議論を重ね、また、意見交換会の開催によって市民の皆様の意見も反映させていただいた、市内循環型経済推進条例と議会基本条例の全容も定まりつつあり、6月議会での議決に向け、最終調整に入りました。また、大月市立中央病院の今後についての議論も開始しています。

(担当 小泉二三雄)

3月	
2日	東部地域広域水道企業団議会定例会
5日	総務産業常任委員会
6日	社会文教常任委員会
8日	議会運営委員会 全員協議会 代表質問
9日	一般質問 予算審査特別委員会
12日	予算審査特別委員会
13日	予算審査特別委員会
14日	予算審査特別委員会
15日	総務産業常任委員会
16日	社会文教常任委員会
20日	議会運営委員会 全員協議会 平成30年第1回(3月)市議会定例会閉会 市議会広報委員会
22日	大月市議会基本条例調査特別委員会
28日	大月市地域活性化対策調査特別委員会

4月	
5日	大月市議会基本条例調査特別委員会
12日	意見交換会(地域づくり推進ワーキング×市議会)
13日	大月市地域活性化対策調査特別委員会
17日	大月市議会基本条例調査特別委員会 議員定例懇談会 臨時全員協議会
20日	山梨県市議会議長会第259回定期総会
24日	関東市議会議長会第84回定期総会

5月	
8日	市議会広報委員会
9日	全国自治体病院経営都市議会協議会第76回理事会 全国自治体病院経営都市議会協議会第46回定期総会
15日	大月市議会基本条例調査特別委員会 議員定例懇談会

## 市議会広報委員会

大月市議会事務局

編集・発行

〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号  
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321  
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会  
広報委員会

委員長 鈴木 基方  
副委員長 小林 信保  
委員 小泉二三雄  
委員 鈴木 章司  
委員 藤本 実  
委員 相馬 力



この市議会だよりは、資源保護のため再生紙を、環境保護のため大豆油インクを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。